

令和7年度中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書に係る
府中市教科用図書採択地区における教科用図書の選定について（答申）

令和6年8月8日

府中市教科用図書採択地区選定委員会

目 次

はじめに	2
中学校	
国 語	1 1
書 写	1 4
社 会 (地理的分野)	1 6
社 会 (歴史的分野)	1 9
社 会 (公民的分野)	2 4
地 図	2 7
数 学	2 9
理 科	3 3
音 楽 (一般)	3 6
音 楽 (器楽合奏)	3 8
美 術	4 0
保健体育	4 2
技術・家庭 (技術分野)	4 5
技術・家庭 (家庭分野)	4 7
英 語	4 9
特別の教科 道徳	5 3

はじめに

府中市教科用図書採択地区選定委員会は、令和6年6月6日府中市教育委員会から「令和7年度中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書に係る府中市教科用図書採択地区における教科用図書の選定について」の諮問を受けて以来、4回の審議を行った。

また、選定委員会は、広島県教育委員会の指導のもと、下記に示す「令和7年度中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書の調査研究の観点」による調査・研究を依頼し、その報告をもとに府中市の生徒の実態に即した教科用図書を選定するべく審議を重ねた。

学校教育は、学習指導要領に則り行われるものであるが、中学校学習指導要領においては、①知識及び技能が習得されるようにすること。②思考力、判断力、表現力等を育成すること。③学びに向かう力、人間性等を涵養すること。以上の基本方針を示している。

本答申は、文部科学省検定済教科書の中から府中市の21世紀を担う生徒が学ぶにふさわしい教科用図書の選定審議をしたものである。答申の趣旨をとらえていただき、府中市教育が一層充実するよう、確かな学力と豊かな心を育む教科用図書の採択をお願いしたい。

教科用図書調査研究の観点

国 語

観点		視点	
第1	知識及び技能の習得	①	言葉の特徴や使い方に関する事項
		②	情報の扱い方に関する事項
		③	我が国の言語文化に関する事項
第2	思考力、判断力、表現力等の育成	④	自分の考えを形成する活動の工夫
		⑤	内容を解釈するための本文記述と図表等の関連
第3	主体的に学習に取り組む工夫	⑥	問題解決的な学習を実施するための工夫
		⑦	見通しを立てて学習するための構成上の工夫
		⑧	学習を振り返るための工夫
第4	内容の構成・配列・分量	⑨	単元の構成
		⑩	単元・教材等の配列
第5	内容の表現・表記	⑪	巻末資料の示し方
		⑫	デジタルコンテンツの活用

書 写

観点		視点	
第1	知識及び技能の習得	①	姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方
		②	文字の書き方の示し方
第2	思考力、判断力、表現力等の育成	③	目的や必要に応じて書き方を選ぶための工夫
第3	主体的に学習に取り組む工夫	④	他の学習や生活の様々な場面につなげるための工夫
		⑤	学習の見通しを立てるための構成上の工夫
		⑥	自らの課題を発見し、自己調整しながら学習に取り組むための工夫
第4	内容の構成・配列・分量	⑦	単元・教材等の配列・分量
		⑧	伝統と文化に関する内容の記述
第5	内容の表現・表記	⑨	デジタルコンテンツの活用

社 会 (地 理)

観点		視点	
第1	知識及び技能の習得	①	学習課題の示し方
		②	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
		③	国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫
第2	思考力、判断力、表現力等の育成	④	見方・考え方を働かせるための工夫
		⑤	学習のまとめの工夫
第3	主体的に学習に取り組む工夫	⑥	単元の導入における工夫
		⑦	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫
第4	内容の構成・配列・分量	⑧	単元や資料等の配列・分量
		⑨	防災教育の充実
第5	内容の表現・表記	⑩	学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用
		⑪	掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫

社 会 (歴 史)

観点		視点	
第1	知識及び技能の習得	①	学習課題の示し方
		②	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
		③	国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫
第2	思考力、判断力、表現力等の育成	④	見方・考え方を働かせるための工夫
		⑤	学習のまとめの工夫
第3	主体的に学習に取り組む工夫	⑥	単元の導入における工夫
		⑦	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫
第4	内容の構成・配列・分量	⑧	単元や資料等の配列・分量
		⑨	主権者育成のための工夫
第5	内容の表現・表記	⑩	学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用
		⑪	掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫

社 会 (公 民)

観点		視点	
第1	知識及び技能の習得	①	学習課題の示し方
		②	公民としての基礎的教養を培うための工夫
		③	国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫
第2	思考力、判断力、表現力等の育成	④	見方・考え方を働かせるための工夫
		⑤	学習のまとめの工夫
第3	主体的に学習に取り組む工夫	⑥	単元の導入における工夫
		⑦	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫
第4	内容の構成・配列・分量	⑧	単元や資料等の配列・分量
		⑨	社会参画への意識を高める工夫
第5	内容の表現・表記	⑩	学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用
		⑪	掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫

地 図

観点		視点	
第1	知識及び技能の習得	①	地図の活用を促す工夫
		②	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
第2	思考力、判断力、表現力等の育成	③	思考力、判断力、表現力等を育む工夫
		④	目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
第3	主体的に学習に取り組む工夫	⑤	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫
第4	内容の構成・配列・分量	⑥	題材や資料等の配列
第5	内容の表現・表記	⑦	学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い

数 学

観点		視点	
第1	知識及び技能の習得	①	知識及び技能の定着を図るための工夫
		②	概念的な理解を促す工夫
第2	思考力、判断力、表現力等の育成	③	数学的な表現を用いて自分の考えを説明し合う活動の工夫
		④	問題発見・解決の過程を意図した活動の工夫
第3	主体的に学習に取り組む工夫	⑤	興味・関心を高めるための工夫
		⑥	問題解決的な学習を実施するための工夫
		⑦	問題解決的な学習に対する振り返りの工夫
第4	内容の構成・配列・分量	⑧	単元や資料等の配列
		⑨	発展的な学習に関する内容の記述
第5	内容の表現・表記	⑩	イラスト・写真・デジタルコンテンツの活用

理 科

観点		視点	
第1	知識及び技能の習得	①	知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫
		②	観察・実験の技能を習得させるための工夫
第2	思考力、判断力、表現力等の育成	③	単元の導入において、課題を設定するための工夫
		④	観察、実験を計画する学習活動、結果を分析し解釈する学習活動の工夫
		⑤	科学的な概念を使用して考えたり、説明したりする活動の工夫
第3	主体的に学習に取り組む工夫	⑥	学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高めるための工夫
		⑦	科学的に探究しようとする態度の育成を図る工夫
第4	内容の構成・配列・分量	⑧	単元の配列の工夫
		⑨	補充的な観察、実験及び発展的な学習等に関する内容の工夫
第5	内容の表現・表記	⑩	写真、資料及びデジタルコンテンツ等の取扱い

音 楽（一 般）

観点		視点	
第1	知識及び技能の習得	①	表現、鑑賞領域の知識及び技能の習得を図るための工夫
		②	題材の学習目標等の示し方
第2	思考力、判断力、表現力等の育成	③	音楽表現を創意工夫させるための工夫
		④	音楽的な見方・考え方を働かせる工夫
第3	主体的に学習に取り組む工夫	⑤	興味・関心を高めるための工夫
		⑥	音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫
第4	内容の構成・配列・分量	⑦	我が国の音楽に関する内容の扱い
		⑧	教材の配列及び分量
第5	内容の表現・表記	⑨	〔共通事項〕の指導を充実させるための工夫
		⑩	楽譜、イラスト・写真、デジタルコンテンツの活用

音 楽（器楽合奏）

観点		視点	
第1	知識及び技能の習得	①	器楽分野の知識及び技能の習得を図るための工夫
		②	題材の学習目標等の示し方
第2	思考力、判断力、表現力等の育成	③	音楽表現を創意工夫させるための工夫
		④	音楽的な見方・考え方を働かせる工夫
第3	主体的に学習に取り組む工夫	⑤	興味・関心を高めるための工夫
		⑥	音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫
第4	内容の構成・配列・分量	⑦	我が国の音楽に関する内容の扱い
		⑧	教材の分量及び構成
第5	内容の表現・表記	⑨	楽譜、イラスト・写真、デジタルコンテンツの活用

美 術

観点		視点	
第1	知識及び技能の習得	①	〔共通事項〕の指導を充実させるための工夫
		②	形や色彩、材料や用具の取扱等の定着を図るための工夫
第2	思考力、判断力、表現力等の育成	③	表現と鑑賞の関連を図った学習活動の工夫
		④	表現及び鑑賞活動における言語活動の工夫
第3	主体的に学習に取り組む工夫	⑤	興味・関心を高めるための工夫
		⑥	生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わるための工夫
第4	内容の構成・配列・分量	⑦	題材の配列
第5	内容の表現・表記	⑧	作品等についての示し方の工夫
		⑨	デジタルコンテンツの活用

保 健 体 育

観点		視点	
第 1	知識及び技能の習得	①	単元の目標の示し方
		②	知識及び技能の習得を図る工夫
第 2	思考力、判断力、表現力等の育成	③	思考力、判断力、表現力等の育成を促す工夫
		④	個人生活における健康安全について、自分の考えを言葉や文章及び動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動の工夫
第 3	主体的に学習に取り組む工夫	⑤	自己の課題を見付け、その解決に向けた学習活動の工夫
		⑥	興味・関心を高めるための工夫
第 4	内容の構成・配列・分量	⑦	単元・題材や資料等の配列
		⑧	発展的な学習に関する内容の工夫
第 5	内容の表現・表記	⑨	イラスト・写真等の活用
		⑩	デジタルコンテンツの活用

技 術

観点		視点	
第 1	知識及び技能の習得	①	基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫
		②	技術の概念の理解を促すための工夫
第 2	思考力、判断力、表現力等の育成	③	技術の見方・考え方を働かせるための工夫
		④	技術による問題の解決を行うための工夫
第 3	主体的に学習に取り組む工夫	⑤	目標の示し方
		⑥	学習過程の工夫
第 4	内容の構成・配列・分量	⑦	題材や資料等の配列
		⑧	実践的・体験的な学習を実施するための工夫
第 5	内容の表現・表記	⑨	各教科等と関連させて学習を進める工夫
		⑩	デジタルコンテンツの活用

家 庭

観点		視点	
第1	知識及び技能の習得	①	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫
		②	実践的、体験的な学習を実施するための工夫
第2	思考力、判断力、表現力等の育成	③	生活の中から課題を見いだすための工夫
		④	課題を実践し、評価を改善し表現するための工夫
第3	主体的に学習に取り組む工夫	⑤	学習した内容を家庭や地域で実践するための記述
		⑥	「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせるための工夫
第4	内容の構成・配列・分量	⑦	発展的な学習の扱い方
		⑧	他教科等と関連させて学習を進める工夫
第5	内容の表現・表記	⑨	特別支援教育へ配慮した構成、デザインの工夫
		⑩	デジタルコンテンツの活用

外 国 語

観点		視点	
第1	知識及び技能の習得	①	単元の目標の示し方
		②	基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための工夫
第2	思考力、判断力、表現力等の育成	③	単元における言語活動の工夫
		④	知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫
第3	主体的に学習に取り組む工夫	⑤	単元に対する興味・関心を高めるための工夫
		⑥	単元等における振り返りの工夫
第4	内容の構成・配列・分量	⑦	単元の構成・配列の工夫
		⑧	小学校外国語科との接続を図った構成・配列
第5	内容の表現・表記	⑨	巻末資料、付録等の工夫
		⑩	学習到達目標の設定

道 徳

観点		視点	
第1	知識及び技能の 習得	①	道徳科の学び方等の示し方
		②	発問の工夫
第2	思考力、判断力、 表現力等の育成	③	考えを伝え合う活動の工夫
		④	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫
第3	主体的に学習に 取り組む工夫	⑤	問題解決的な学習を取り入れた工夫
		⑥	体験的な学習を取り入れた工夫
第4	内容の構成・ 配列・分量	⑦	分量や教材の数
		⑧	現代的な課題等を踏まえた内容の示し方
第5	内容の表現・表記	⑨	巻頭、巻末等の取扱いの工夫
		⑩	教材の内容を理解させる工夫

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	国語

教科書選定の観点

- ・知識及び技能の習得
 - 言葉の特徴や使い方に関する事項
 - 情報の扱い方に関する事項
 - 我が国の言語文化に関する事項
- ・思考力、判断力、表現力等の育成
 - 自分の考えを形成する活動の工夫
 - 内容を解釈するための本文記述と図表等の関連
- ・主体的に学習に取り組む工夫
 - 問題解決的な学習を実施するための工夫
 - 見通しを立てて学習するための構成上の工夫
 - 学習を振り返るための工夫
- ・内容の構成・配列・分量
 - 単元の構成
 - 単元・教材等の配列
- ・内容の表現・表記
 - 巻末資料の示し方
 - デジタルコンテンツの活用

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見
		○特徴 ◎最も顕著な特徴 ●意見
2	東京書籍	<p>○情報と情報との関係の捉え方や、比較や分類、関連付けなどの情報の整理の仕方を、生徒にとって身近な例を題材にして、体系的に学ぶことができるようになっている。</p> <p>○「話す・聞く」において、社会生活を話題にした話し合い活動をする単元が設定されている。合意形成に関する説明や話し合いの具体例が書かれており、生徒が見通しをもって活動に取り組むことができる。</p> <p>◎問題解決的な言語活動が多く設けられ、生徒同士が助言し合ったり、議論を通して考えを深めたり、互いの考えを生かして結論をまとめたりするなど、協働して学びを深められるように工夫されている。</p> <p>○各単元は、「読むこと」の教材と、「話すこと・聞くこと」「書くこと」のいずれかの領域の教材及び「知識及び技能」教材で構成されているので、基本的な知識と技能を定着させながら読む力を育める。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」の動画や古文の朗読動画がある。ゲーム・クイズ形式の文法問題があり、生徒が意欲的に取り組める。テーマごとに語彙を検索でき、意味や用例を確認することができる。</p>

15	三省堂	<p>○多様な情報を関連付けながら、現代社会の課題について考えを深められるよう工夫しており、内容が難易度に応じて整理されているので、系統的に学習することができる。</p> <p>○「話す・聞く」において、学校生活を話題にしたグループディスカッションをする単元が設定されている。話し合いのコツが1年時から系統的かつ具体的に書かれ、見直しをもって段階的に学びを深められる。</p> <p>◎教材の冒頭に学習目標を示している。教材の終わりに学習の「学びの道しるべ」があるため、見直しをもって学習に取り組むことができる。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の教材の複数の領域がセットで単元が構成されているので、異なる領域を併せた指導がしやすく、幅広い学習活動や指導の工夫がしやすい。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」の活動動画や作文例等を見ることができる。教材に応じたワークシートや、漢字と文法に関するデジタルドリルがあり、生徒が自主的に学習に取り組むことができる。</p> <p>●資料と本文を関連付けて学習する教材が充実している。</p>
17	教育出版	<p>○各学年とも、本編の情報活用に係る単元、1年「情報を得る」、2年「情報を捉える」、3年「情報を共有する」を設定し、系統的に情報を扱う学習ができる。</p> <p>○「話す・聞く」において、社会問題と学校を関連付けた話し合い活動をする単元が設定されている。合意形成のための話し合いのポイントや話し合いの具体例があり、生徒がイメージをもって学習できる。</p> <p>◎生活や社会におけるさまざまな課題に対して、他者との協働的な活動の中で、コミュニケーション力を高め、互いの立場や考えを尊重し、よりよい解決を目指す態度と能力を育成できるよう配慮している。</p> <p>○各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の内、複数の領域からなる教材と知識及び技能教材で構成されているので、基本的な知識・技能の習得と同時に、各領域の目指す力を育みやすい。</p> <p>○二次元コードのある教材では、教材の解説・関連資料を見ることができ、単元の学習の参考にできる。</p>
38	光村図書	<p>○資料として「語彙ブック」があり、描写・言動・思考・コラムという分類で学年に応じた語句が整理されている。また、デジタルコンテンツで「言葉の宝箱(小学校)」が見られる。</p> <p>◎「話す・聞く」において、学校生活を話題に会議を開く単元が設定されている。合意形成の説明や話し合い例にポイントが示されており、身近な題材をもとに、見直しをもって話し合い活動を行うことができる。</p> <p>○自ら課題を発見し解決を目指して主体的に取り組めるよう、構成は、全体を見直し、学習を調整しながら個→集団→個で対話的に理解を深め、学習を社会生活や他教科に生かすことができる。</p>

	<p>○各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域と知識及び技能の内、複数の領域で構成されているので、単元、領域の力を育みつつ、関連した基本的知識・技能の定着を図りやすい。</p> <p>○教材ごとの二次元コードで動画や関連資料を見ることができるほか、C B T（コンピュータを使用した試験）形式の問題があり、解答のテキスト入力・自己採点ができ、生徒の学習に役立つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●古文の教材に人物相関図が付けられており、内容を理解しやすい。 ●新出漢字について、読み方や使い方がわかりやすく記載されている。 ●資料と本文を関連付けて学習する教材が充実している。 ●学習の振り返りの視点が明確に示されている。 ●各教材の学習の仕方が「学びのカギ」として示され、視点に沿って学べるようになっている。また、「資料編」に要点がまとめて記載されている。
--	--

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	書 写

教科書選定の観点

- ・知識及び技能の習得
 - 姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方
 - 文字の書き方の示し方
- ・思考力、判断力、表現力等の育成
 - 目的や必要に応じて書き方を選ぶための工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
 - 他の学習や生活の様々な場面につなげるための工夫
 - 学習の見通しを立てるための構成上の工夫
 - 自らの課題を発見し、自己調整しながら学習に取り組むための工夫
- ・内容の構成・配列・分量
 - 単元・教材等の配列・分量
 - 伝統と文化に関する内容の記述
- ・内容の表現・表記
 - デジタルコンテンツの活用

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
2	東京書籍	○筆脈を点線で示している。また、朱墨で筆使いを示し、ポイントに、「四つの動き」を示すアイコンで筆使いを示しているため、行書の特徴を確認しながら学習を進めることができる。	◎生徒が実際に書き込めるシートを作り、手本を見ながら書けるようにしている。	●防災訓練など、地域社会や生活に広げて示している。
15	三省堂	○第1学年「行書 点画の形や方向の変化」において、筆脈を青の矢印や点線で示し、言葉で解説している。また、行書の文字（朱墨）と楷書の文字（黒字）を並べて示している。そのため、視覚的に理解しやすい。	◎グループ新聞や情報誌を作る単元があり、協働的に活動することができる。	●手紙の構成を、手書きの場合とパソコンで書くときの構成も踏まえて示しているの で、実生活と関連付けて考えやすい。

		<p>○該当箇所の二次元コードからコンテンツにアクセスでき、関連する資料の概要を確認することができる。</p> <p>●実物大の見本が掲載されており、生徒がイメージをもちやすい。</p>
17	教育出版	<p>○朱墨で筆使いを示し、ポイントとなるところに、「連続」や「変化」を示すアイコンと写真で筆使いを示し、視覚的に理解できる。</p> <p>○どのような点に注意するとよいか、話し合うための観点を示している。</p> <p>◎校庭の植物を観察してレポートにまとめるなど、学校生活と関連付けた単元を設定している。</p> <p>○楷書、楷書と仮名の調和、行書、行書と仮名の調和の学習を経て学習活動や日常生活に生かして書く学習という配列になっている。</p> <p>○該当箇所の二次元コードからコンテンツにアクセスでき、ワークシートを閲覧できる二次元コードで確認することができる。</p> <p>●行書の際の筆の運び方がわかりやすい。</p>
38	光村図書	<p>◎SDGs と書写を関連付けており、左利きの生徒への配慮もある。</p> <p>○「考えよう」では、目的や場面に応じてフォントなどの文字を使い分けることを考えることができる。</p> <p>○行書学習の始めに行書の特徴を四つに整理して行書スイッチを設定し、「考えよう」ではどのスイッチかをイラストで示している。「確かめよう」では筆使いを擬音語で示している。</p> <p>○楷書、行書の学習を経て、文字を使い分けることや日常に役立つ書式の学習という配列になっているため見通しがもてる。また、書写ブックを活用して、硬筆の学習を行えるようにしてある。</p> <p>○該当箇所の二次元コードからコンテンツにアクセスでき、「文字マップ」や「SDGs について」等、教科用図書に収録されていない関連資料を二次元コードで確認することができる。</p> <p>●左利きの生徒用の動画が用意されている。</p> <p>●行書の際の筆の運び方や余白のたせ方がわかりやすい。</p> <p>●教科書に書き込むことのできるページが充実している。</p> <p>●実物大の見本が掲載されており、生徒がイメージをもちやすい。</p>

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	社会(地理的分野)

教科書選定の観点

- ・知識及び技能の習得
 - 学習課題の示し方
 - 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
 - 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫
- ・思考力、判断力、表現力等の育成
 - 見方・考え方を働かせるための工夫
 - 学習のまとめの工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
 - 単元の導入における工夫
 - 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫
- ・内容の構成・配列・分量
 - 単元や資料等の配列・分量
 - 防災教育の充実
- ・内容の表現・表記
 - 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用
 - 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
2	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○「地球の姿を見てみよう」のようにタイトルを示している。タイトルの右横に「どのように/どのような～でしょうか。」等の表現で、1時間の学習課題を示している。 ○「アジア州」経済発展についての資料を発表し、それぞれの地域や国で経済が成長した理由とそれに伴う変化や課題を整理した図を参考に、単元の探究課題について、自分の言葉でまとめる活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎諸地域の特色をおさえた上で、対話形式になっているキャラクターの吹き出しによって、探究課題へと思考の流れを導く工夫がされている。また、地形図の色使いが鮮やかで見やすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭ページに世界の食事と共に生きる人々の様子がうかがえる写真資料を掲載することで、学習指導要領に示される「人間と自然環境との相互依存関係」という視点に着目させる構成になっている。 ○単元ごとに「導入」の動画、白地図、統計表、記述できるテキスト、ワードチェック、「まとめ」に活用できる二次元コードが掲載されており、復習、予習に活用できる。 ●生徒が見通しをもち、探究的に学んでいくことができるような記載がされている。 ●気候の特色について、その様子がわかる写真が豊富である。

		●写真、絵、図、地図、グラフ、デジタルコンテンツの量が充実している。
17	教育出版	<p>○「地図から見える世界」のようにタイトルを示している。タイトルの右横に「どのような～でしょうか。」「～比べましょう。」等の表現で、1時間の学習課題を示している。</p> <p>○巻頭ページに、「地理の学習を始めるにあたって…」を設定し、「見方・考え方」として、「位置や広がり（分布）」「自然環境との関わり」「場所」「結びつき」「地域」を示している。</p> <p>◎日本の7地方区分における課題の例が掲載されている。また、見方・考え方の視点が明記されており、探究学習の基本的な考え方が示されている。</p> <p>○巻頭ページにおいて、地理的分野の学習内容や学習の流れ及び本教科書の活用方法についての説明が充実している。</p> <p>○各編ごとに二次元コードが掲載されており、学習に役立つ外部リンクが貼られている。単元終わりには語句チェックとしてのクイズができるようになっている。</p>
46	帝国書院	<p>○「私たちの住む地球を眺めて」のようにタイトルを示している。タイトルの右横に「どのように/どのような～だろうか。」等の表現で、1時間の学習課題を示している。</p> <p>○巻頭ページに、「地理的な見方・考え方」を設定し、「見方・考え方」として、「位置や分布」「場所」「人間と自然との関わり」「他地域との結びつき」「地域の特徴」を示している。</p> <p>○諸地域の特色をイラストと写真で捉えた上で、学習の見通しをもたせる工夫がされている。また、デジタルコンテンツが充実しており、地形図クイズや見通しスライドなど、教材として使えるものが多い。</p> <p>◎巻頭ページにて、考えを整理する方法としてカテゴリ別思考ツールを4点あげ、その活用方法を説明している。また、巻末ページに用語解説のページはないが、デジタルコンテンツ上に用意されている。</p> <p>○巻頭6④の二次元コードを読み取り、13のコンテンツから必要とするものを選択して学習することができる。</p>
116	日本文教出版	<p>○「地球の姿をながめよう」のようにタイトルを示している。タイトルの下に「どのように/どのような～でしょうか。」等の表現で、1時間の学習課題を示している。</p> <p>○巻頭ページに、「地理的な見方・考え方って？」を設定し、「見方・考え方」として、「位置や分布」「場所」「人と自然とのかかわり」「地域同士のつながり」「地域」を示している。</p> <p>○見開き1ページで諸地域の特色を写真で捉えた上で、地域の自然環境を大観させ、問いと問いに対する疑問や答えの予想をしていく工夫がされている。また、デジタルコンテンツが充実しており、活用しやすい。</p> <p>◎災害に関する写真資料が大きく見やすい。また、多様な地域の防災活動を写真資料として掲載している。さらに、デジタルコンテンツも充実しており、画面も見やす</p>

	<p>く、操作しやすい。</p> <p>○小单元ごとに二次元コードがあり、その単元の学習に役立つ動画やポートフォリオ、確認小テストなどのコンテンツが見付けやすくなっている。</p> <p>●生徒が見通しをもち、探究的に学んでいくことができるような記載がされている。</p>
--	--

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	社会（歴史的分野）

教科書選定の観点

- ・知識及び技能の習得
 - 学習課題の示し方
 - 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
 - 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫
- ・思考力、判断力、表現力等の育成
 - 見方・考え方を働かせるための工夫
 - 学習のまとめの工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
 - 単元の導入における工夫
 - 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫
- ・内容の構成・配列・分量
 - 単元や資料等の配列・分量
 - 主権者育成のための工夫
- ・内容の表現・表記
 - 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用
 - 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見
		○特徴 ◎最も顕著な特徴 ●意見
2	東京書籍	<p>○見開きごとにタイトルと副題を示し、「どのような」「どのように」といった1授業あたりの学習課題と小単元の学習課題も示している。また、見開き左ページに「チェック」、右ページに「トライ」を設定し、授業の流れが意識された問いの設定がなされている。</p> <p>◎歴史的な見方・考え方の解説を掲載し、資料の読み取りやワークシート活動ツールを使って習得した「歴史的な見方・考え方」を活用する問いを掲載している。</p> <p>○二次元コード、絵図やイラスト等で資料の読み取りなどの個人活動やグループによる話し合い活動を示し、キャラクターの問いにより学習課題を導くよう構成されている。</p> <p>○章立ては古代から現代へと時系列に沿っており、全268ページは、歴史の捉え方14ページ、古代までの日本42ページ、中世の日本34ページ、近世の日本46ページ、近代の日本と世界100ページ、現代の日本と世界32ページで構成されている。補充的・発展的な学習については「知りたい!」という特設ページを8箇所、地域事例については「地域の歴史を調べよう」という特設ページを5箇所設けるとともに、第1章第2節「身近な地域の歴史」で6ページを使い地域の歴史の調べ方を示している。</p>

		<p>○掲載資料の内訳は、写真 125、絵図 84、地図 32、図表・グラフ 26、文書資料 47、年表 3、人物 57 である。二次元コードは 49 記載されており、クイズ、練習問題、ワークシート、動画、拡大画像、文献資料、地図、学習に役立つウェブサイトへのリンク、他教科の教科書を閲覧できるコンテンツにアクセスできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「見方・考え方」を働かせるための問いが多く示されている。 ●歴史年表に矢印が付けられ、外国とのつながりを年代と合わせて捉えやすい。 ●掲載資料の量が充実している。 ●鎌倉幕府の成立時期について、3つの説があることに触れて記載している。
17	教育出版	<p>◎見開きごとにタイトルと副題を示し、「どのような」「どのように」といった表現で学習課題を示している。また、見開き右ページに「表現！」のコーナーを設け、学習課題に対応した問いを設定している。</p> <p>○章のまとめとして学習内容を振り返り、時代の特色や章の問いについて自分の考えを文章にまとめて説明する場面を設定している。</p> <p>○調べ学習のポイントや例を示し、調査方法や相手により伝わる表現方法等について記載し、聞き手を意識して発表する場を設定している。</p> <p>○章立ては古代から現代へと時系列に沿っており、全 285 ページは、歴史の捉え方 17 ページ、古代までの日本 40 ページ、中世の日本 36 ページ、近世の日本 48 ページ、近代の日本と世界 108 ページ、現代の日本と世界 36 ページで構成されている。補充的・発展的な学習については「歴史を探ろう」という特設ページを 13 箇所、地域事例については「身近な地域の歴史を調べよう」という特設ページを 6 箇所設けるとともに、第 1 章第 2 節「身近な地域の歴史を調べよう」で 7 ページを使い地域の歴史の調べ方を示している。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。円グラフ・帯グラフは文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切りを入れている。複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変え、実線で示している。本文ページ見開きのレイアウトを統一し、本文部分と側注等の資料の掲載部分を色分けしている。ページ下部の記載で学習内容を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●鎌倉幕府の成立時期について、3つの説があることに触れて記載している。
46	帝国書院	<p>◎歴史に見られる国際関係や日本に影響を与えた文化交流について、時代区分と記載数は、それぞれ古代 2 つ、中世 2 つ、近世 4 つ、近代 7 つである。国際関係が複雑化する近代を重点的に取り上げ、地図や写真、図を用いて多角的に歴史的事象を捉えることができる。</p> <p>○単元の学習を振り返る際や課題に取り組む途中に「歴史的な見方・考え方」をアイコン等で示し、具体例を挙げて考察しやすいよう説明をしている。</p> <p>○二次元コードや絵図、イラストを示し、話し合い活動や予想を書く活動などの具体的な活動方法や章や各説の学習課題を示している。</p> <p>○章立ては古代から現代へと時系列に沿っており、全 304 ページは、歴史の捉え方 12</p>

		<p>ページ、古代までの日本 48 ページ、中世の日本 42 ページ、近世の日本 56 ページ、近代の日本と世界 114 ページ、現代の日本と世界 32 ページで構成されている。補充的・発展的な学習については、「アクティブ歴史」「世界とのつながりを考えよう 地図編」「世界とのつながりを考えよう イラスト編」という特設ページ 11 箇所、地域事例については「歴史を探ろう」という特設ページを 11 箇所設けるとともに、第 1 章第 2 節「歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」で 7 ページを使い地域の歴史の調べ方を示している。</p> <p>○掲載資料の内訳は、写真 129、絵図 73、地図 37、図表・グラフ 38、文書資料 2、年表 3、人物 62 である。二次元コードは 20 記載されており、ワークシート、クイズ、用語の定義、動画、白地図、イラスト、他分野の教科書を閲覧できるコンテンツ、学習に役立つウェブサイトへのリンクにアクセスできる。</p> <p>●「タイムトラベル」というコーナーを設置し、その時代のイメージをもちやすくしている。</p> <p>●歴史年表にイラストがあり、わかりやすい。</p> <p>●掲載資料の量が充実している。</p>
81	山川出版社	<p>○見開きごとに副題なしでタイトルを示し、「どのような」「なぜ」といった表現で学習課題を示している。また、見開き右ページに 1 時間の学習内容を踏まえて取り組む「ステップアップ」を設定し学習課題に取り組ませる工夫がある。</p> <p>◎章のまとめとして、様々な視点にたって時代の特色や社会の変化になどについて自分の考えを文章にまとめ、章の問いに答える場面を設定している。</p> <p>○これから学習する内容を日本史と世界史に分けて年表、歴史的事象の写真や絵図を示している。</p> <p>○章立ては古代から現代へと時系列に沿っており、全 279 ページは、歴史の捉え方 9 ページ、古代までの日本 48 ページ、中世の日本 40 ページ、近世の日本 52 ページ、近代の日本と世界 100 ページ、現代の日本と世界 30 ページで構成されている。補充的・発展的な学習については「歴史へのアプローチ」「歴史を考えよう」という特設ページを 17 箇所、地域事例については「地域からのアプローチ」という特設ページを 6 箇所設けるとともに、第 1 章第 2 節「身近な地域を調べよう」で 6 ページを使い地域の歴史の調べ方を示している。</p> <p>○掲載資料の内訳は、写真 123、絵図 66、地図 31、図表・グラフ 37、文書資料 19、年表 0、人物 47 である。二次元コードは 11 記載されており、動画、拡大画像、学習に役立つウェブサイトへのリンクにアクセスできる。</p>
116	日本文教出版	<p>◎見開きごとにタイトルと副題を示し、「どのような」といった表現で学習課題を示している。学習課題から「見方・考え方」へつなげる表示がある。また、見開き右ページに「確認」「表現」を設定し、学習課題に対応した問いを設定している。</p> <p>○小学校で学んだ活動を通じて「歴史的な見方・考え方」を働かせた学習の仕方を解説し、各時代の学習で一貫した活用方法を示している。</p>

		<p>○調べ学習のポイントを示し、プレゼンテーションソフトを活用した説明の場面を設定している。</p> <p>○章立ては古代から現代へと時系列に沿っており、全 286 ページは、歴史の捉え方 12 ページ、古代までの日本 46 ページ、中世の日本 40 ページ、近世の日本 50 ページ、近代の日本と世界 104 ページ、現代の日本と世界 34 ページで構成されている。補充的・発展的な学習については「歴史を掘り下げる」「チャレンジ歴史」という特設ページを 12 箇所、地域事例については「出かけよう！地域調べ」という特設ページを 6 箇所設けるとともに、第 1 章第 2 節「身近な地域の歴史の探求」で 6 ページを使い地域の歴史の調べ方を示している。</p> <p>○掲載資料の内訳は、写真 116、絵図 69、地図 31、図表・グラフ 37、文書資料 34、年表 31、人物 61 である。二次元コードは 60 記載されており、テスト、ワークシート、動画、年表にアクセスできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本と世界の関わりがわかりやすい歴史年表が付けられている。 ●掲載資料の量が充実している。 ●鎌倉幕府の成立時期について、3つの説があることに触れて記載している。
225	自由社	<p>◎文化遺産、神話・伝承の取り扱いについては、写真資料に「国宝」「重要文化財」「世界遺産」のマーク表示がある。巻頭に「日本の世界文化遺産」を地図等とともに示している。また、他社では取り扱いがない「神話による神々の系図」を 2 ページにわたって記載しており、神話や伝承に関する内容の記載が多い。</p> <p>○それぞれの時代の問題を自分のこととして考えるコラムを掲載しているが、「歴史的な見方・考え方」についての詳しい説明はない。</p> <p>○4つの班に分かれて行った調べ学習の具体例を示すなど、単元の最後には調べ学習の進め方やまとめ方の例を記載している。</p> <p>○章立ては古代から現代へと時系列に沿っており、全 281 ページは、歴史の捉え方 12 ページ、古代までの日本 50 ページ、中世の日本 36 ページ、近世の日本 44 ページ、近代の日本と世界 106 ページ、現代の日本と世界 33 ページで構成されている。補充的・発展的な学習については「もっと知りたい」「調べ学習のページ」という特設ページを 41 箇所、地域事例については「調べ学習のページ」という特設ページ 6 箇所設けるとともに、第 1 章第 3 節「地域の歴史を調べる」で 6 ページを使い地域の歴史の調べ方を示している。</p> <p>○掲載資料の内訳は、写真 68、絵図 71、地図 22、図表・グラフ 14、文書資料 60、年表 5、人物 34 である。二次元コードは掲載されていない。</p>
227	育鵬社	<p>○見開きごとに副題なしでタイトルのみ示し、「どのような」といった表現で学習課題を示している。また、見開き右ページに「確認」「探究」を設定し、学習課題に対応した学習を振り返る課題を示している。</p> <p>◎章の問いに対して振り返りを行い、話し合いを通して理由をまとめ、自分の考えを理由と合わせて説明する場面を設定している。</p>

		<p>○絵図やイラスト等時代順に示し、章全体に係る説明や章および各節に係る学習活動との学習課題を具体的に示している。</p> <p>○章立ては古代から現代へと時系列に沿っており、全 270 ページは、歴史の捉え方 14 ページ、古代までの日本 40 ページ、中世の日本 32 ページ、近世の日本 50 ページ、近代の日本と世界 98 ページ、現代の日本と世界 36 ページで構成されている。補充的・発展的な学習については「歴史ズームイン」という特設ページを 18 箇所、地域事例については「地域の歴史を調べてみよう」という特設ページを 2 箇所設けるとともに、序章 4 「身近な地域の歴史の調べ方」で 4 ページを使い地域の歴史の調べ方を示している。</p> <p>○掲載資料の内訳は、写真 78、絵図 68、地図 33、図表・グラフ 36、文書資料 20、年表 3、人物 77 である。二次元コードは 2 記載されており、学習に役立つウェブサイトへのリンクにアクセスできる。</p> <p>●鎌倉幕府の成立時期について、4 つの説があることに触れて記載している。</p>
236	令和書籍	<p>◎文化遺産、神話・伝承の取り扱いについては、写真資料に「国宝」「世界遺産」「重要文化財」のマークがある。資料サイズは他社と比較して大きい。また、神話や伝承についての記載が多く、ページで長文にわたって記載されている。</p> <p>○歴史的な見方・考え方を活用した学習の進め方を示し、現在とのつながりを考えるコラムを掲載している。</p> <p>○絵図及び歴史的事象を示した年表を示し、政治・外交・文化・産業など様々な視点から学習課題を示している。</p> <p>○章立ては古代から現代へと時系列に沿っており、全 456 ページは、歴史の捉え方 13 ページ、古代までの日本 102 ページ、中世の日本 64 ページ、近世の日本 86 ページ、近代の日本と世界 142 ページ、現代の日本と世界 49 ページで構成されている。補充的・発展的な学習についてはコラムを 40 箇所、地域事例については 3 章末尾「身近な歴史を年表にまとめよう」で 2 ページを使い地域の歴史の調べ方を示している。</p> <p>○掲載資料の内訳は、写真 29、絵図 20、地図 4、図表・グラフ 8、文書資料 20、年表 3、人物 27 である。二次元コードは 1 記載されており、学習まんがにアクセスできる。</p>

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	社会（公民的分野）

教科書選定の観点

- ・知識及び技能の習得
 学習課題の示し方
 公民としての基礎的教養を培うための工夫
 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫
- ・思考力、判断力、表現力等の育成
 見方・考え方を働かせるための工夫
 学習のまとめの工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
 単元の導入における工夫
 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫
- ・内容の構成・配列・分量
 単元や資料等の配列・分量
 社会参画への意識を高める工夫
- ・内容の表現・表記
 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用
 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見
		○特徴 ◎最も顕著な特徴 ●意見
2	東京書籍	<p>○見開きごとにタイトルを示し、タイトルの上にサブタイトルを示している。タイトルの右横に学習課題として「どのような」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。</p> <p>◎単元末において、学習課題、学習活動を設定し、思考ツールや資料を基にまとめるように示している。</p> <p>○持続可能な社会形成に関わる課題例が掲載され、「1 課題の設定（課題把握）『持続可能な社会の形成者として』」「2 資料の収集と読み取り（課題探究）『持続可能な社会を実現するために』」「3 意思決定」「4 提案参加『中間発表（スライド作成）』『最終発表（レポート作成）』」のように課題解決の手順が示されている。</p> <p>○各章末に『深めよう』を設定し、生活に関わりのある学習課題が提示され、社会とどのように関わるか、社会をどのように築いていくかを考える活動が設けられている。</p> <p>○第3章「現代の民主政治と社会」における絵図、写真等の掲載は283点である。それぞれに脚注を記載している。</p> <p>●公民を学ぶことの意義や成人後のことについて詳しく伝えられている。</p> <p>●身近な問題を取扱いながら学習へいざなう構成になっている。</p> <p>●子どもの権利条約について、生徒が身近に感じられるような構成の工夫がある。</p>

17	教育出版	<p>○見開きごとにタイトルを示し、タイトルの下にサブタイトルを示している。タイトルの右横に学習課題として「どのような」「どのように」「何をすることが」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。</p> <p>○持続可能な未来のために「私の提案『自分を変える、社会を変える』つくろう」を作成する中で、持続可能な未来を実現するための探究の方法をSDGsの視点から掲載している。</p> <p>◎各節のテーマと問いを示しており、また章全体の問いを示すことで、これから学習する章全体の内容や学習のねらい、学習する際の視点を捉えさせている。二次元コード「語句クイズ」が設けられており、いつでも復習できるようになっている。</p> <p>○各章末に『HOP!』『STEP!』『JUMP!』を設定し、SDGsと関連させて「未来のためにできること」を考える問いを設けている。</p> <p>○第3章「私たちの暮らしと民主政治」における絵図、写真等の掲載は206点である。それぞれに脚注を記載している。</p> <p>●より身近な問題を取扱いながら学習へいざなう構成になっている。</p>
46	帝国書院	<p>○「対立と合意」「効率と公正」の扱いについて、地域の問題を取り上げ、対立から合意に至る話し合いについて、ロールプレイの学習課題を設定している。</p> <p>◎単元末において、学習課題、学習活動を設定しており、思考ツールや図を用いて知識を整理、問いを考える、問いをまとめるように示している。</p> <p>○キャラクターの吹き出しで、「～していきましょう」で何を学習するのかを示し、イラストを読んだり見たりする活動を通して章全体の見通しをもたせている。</p> <p>○各章のなかに『アクティブ公民』を設定し、ディベートやロールプレイなど、具体的な事例に対する課題解決を目標にした活動を設けている。</p> <p>○第2部第2章「政治と私たち」における絵図、写真等の掲載は200点である。それぞれに脚注を記載している。</p> <p>●公民を学ぶことの意義や成人後のことについて詳しく伝えられている。</p> <p>●未来へ目を向けさせるための学習について、目次に明示されておりわかりやすい。</p>
116	日本文教出版	<p>○見開きごとにタイトルを示している。タイトルの下に学習課題として「どのように」「どのような」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。</p> <p>○「持続可能な社会」のためにこれからの社会をどうしたいかというレポートを作成し発表する中で、持続可能な社会を実現するための探究の方法を掲載している。</p> <p>◎漫画についてイラストに吹き出しを加えながら問いを示し、興味・関心を高める資料や説明文を掲載している。各編の導入部分で、学習内容についての課題を設定し、見通しを示している。</p> <p>○編末や章末に『チャレンジ公民』を設定し、チャートやグラフの作成、話し合いの活動を記載している等、現代社会の課題に関心がもてるように工夫されている。</p> <p>○第2編第2章「国民主権と日本の政治」における絵図、写真等の掲載は305点である。それぞれに脚注を記載している。</p>

225	自由社	<p>◎「対立と合意」「効率と公正」の扱いについて、身近な学校での問題や地域の問題を取り上げ、対立から合意について「ここがポイント！」で説明している。</p> <p>○「持続可能な日本社会をつくるため私たちに何ができるか」というテーマの卒業論文を作成するなかで、持続可能な社会を実現するための探究の方法を掲載している。</p> <p>○大単元の導入において、1 ページにイラストを掲載し、単元名の下に、単元の内容についての問いを示している。</p> <p>○各章のなかに『アクティブに深めよう』を設定し、食料問題や防災問題など多くの問いを設け、調べ、話し合い、まとめ、発表する活動を設定している。</p> <p>○第3章「日本国憲法と立憲的民主政治」における絵図、写真等の掲載は120点である。それぞれに脚注を記載している。</p>
227	育鵬社	<p>○見開きごとにタイトルを示している。タイトルの右横に学習課題として「どのような」という問いかけの形態で1時間の学習課題の見通しを示している。</p> <p>◎「よりよい社会」を築いていくための国づくり構想のレポートを作成し、持続可能な社会を実現するための探究の方法を掲載している。</p> <p>○各章の導入部分で、「学習するにあたって」を設定し、各章で考えることを示し、また各節の見出しと「節の課題」を一覧で示し、章全体の見通しをもたせている。</p> <p>○章末に「章の『これから』(出口)」を設定し、ランキングシートを作成する、ポスターツアーを行うなどの活動を設定している。</p> <p>○第3章「私たちの生活と政治」における絵図、写真等の掲載は232点である。それぞれに脚注を記載している。</p>

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	社会（地図）

教科書選定の観点

- ・知識及び技能の習得
 - 地図の活用を促す工夫
 - 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
- ・思考力、判断力、表現力等の育成
 - 思考力、判断力、表現力等を育む工夫
 - 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
 - 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫
- ・内容の構成・配列・分量
 - 題材や資料等の配列
- ・内容の表現・表記
 - 学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見
		○特徴 ◎最も顕著な特徴 ●意見
2	東京書籍	<p>○巻頭に「この地図帳の地図記号」「活用方法」を設け、一般図や主題図の見方、読み取り方、デジタルコンテンツの使い方を記載している。</p> <p>◎この地図帳と一緒に“世界旅行”をするキャラクターとして「ミツバチーズ」を設定し、資料活用コーナーを設けている。</p> <p>○世界では州ごと、日本では地方ごとに一般図の次に資料を掲載している。</p> <p>○「世界全体」「日本全体」「世界や日本の地域ごと」「統計」「さくいん」に分類し、インデックスを5つに分類し、さらに世界地理は州ごとに、日本地理は地方ごとに色分けしている。</p> <p>○デジタルコンテンツにアクセスできる二次元コードが83か所あり、そのページに関する地図や文章で答える問いに対する解答が見られる。</p> <p>●府中市の産業についての記載が多い。</p>
46	帝国書院	<p>◎日本の各地方ページに掲載されている歴史に関する資料が16ある。</p> <p>○地図を基に確認したり深めたりする問いのコーナー「地図で発見！」を設定している。</p> <p>○世界では州ごと、日本では地方ごとに、一般図の次に資料を掲載している。</p> <p>○「資料」「世界」「日本」「統計」「さくいん」でインデックスを5つに分類し色分けしている。</p> <p>○デジタルコンテンツにアクセスできる二次元コードが56か所あり、州の初めのページにアクセスすると、その州の資料、動画を一覧で表示している。</p> <p>●土地の高低差の色分けがはっきりとしており、わかりやすい。</p>

	<ul style="list-style-type: none">●歴史についての記載が多く、幅広く活用できる。●各地方の資料が多種多様に掲載されている。
--	---

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	数 学

教科書選定の観点

- ・知識及び技能の習得
 - 知識及び技能の定着を図るための工夫
 - 概念的な理解を促す工夫
- ・思考力、判断力、表現力等の育成
 - 数学的な表現を用いて自分の考えを説明し合う活動の工夫
 - 問題発見・解決の過程を意図した活動の工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
 - 興味・関心を高めるための工夫
 - 問題解決的な学習を実施するための工夫
 - 問題解決的な学習に対する振り返りの工夫
- ・内容の構成・配列・分量
 - 単元や資料等の配列
 - 発展的な学習に関する内容の記述
- ・内容の表現・表記
 - イラスト・写真・デジタルコンテンツの活用

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見
		○特徴 ◎最も顕著な特徴 ●意見
2	東京書籍	<p>○各学習のはじめに「Q 考えてみよう」を設定して学習のきっかけとするとともに、見通しを立てるための考え方を示している。</p> <p>○生徒が主体的に学習したことを活用して説明したり話し合ったりできる課題を取り上げている。箱ひげ図とヒストグラムなど異なる図を比較して、その特徴を比較することで説明を行うことができるようにしている。(2年)</p> <p>○飲み物を保冷バックに入れると、どれくらいの間、飲み物を冷たく保てるか考える活動が設定され、「問題をつかむ→見通しをたてる(自分で考えてみよう、友だちの考えを知ろう)→問題を解決する(話し合ってみよう)→振り返る→深める」という問題解決の過程を示している。</p> <p>○「数学の目で、振り返ろう」で、学年を越えて働かせることができる「見方・考え方」を確認できるようにしている。「数学の自由研究」で日常生活や他教科の学習と関連した課題やそれをレポートにまとめる活動を例示している。</p> <p>◎デジタルコンテンツが豊富で、視覚的に確認できる。また多くの問いの類題がフラッシュカードになっており、学び直しに活用することができる。</p> <p>●関数の学習の導入に連続量の問題を配置しているため、生徒が理解しやすい。</p> <p>●作図に関して集中的に取り上げて記載している箇所があり、作図が苦手な生徒の支援になる。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ●フラッシュカード等のデジタルコンテンツが用意されており、生徒の知識・技能の定着に役立つ。 ●全体的にバランスよく構成されており、生徒の興味・関心を高めやすい。
4	大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> ○1年「比例・反比例」では、1時間ごとの気温の変化のようすなど、ともなって変わるいろいろな数量のうち、2つの数量に着目して、それらの数量の関係について考えることを通して、関数の概念について理解できるようにしている。 ○導入場面で、五角形の内角の和を求めたカルロスさんの考え方（一つの頂点からひいた対角線によって三角形に分ける）を使って、六角形と七角形の内角の和を求める活動を設定している。（2年） ○学習内容を深めたり広げたり、日常生活や他教科の学習に活用できる題材を取り上げている。仕事の中の数学を紹介する読み物を載せている。 ○発展的内容は「多項式を累乗する展開」「背理法」「分母が多項式であるときの有理化」「2次関数」「図形のなかにいろいろな関数を見つけよう」などがある。（3年） ◎二次元コードから、「例・例題の解説動画」などのデジタルコンテンツを利用できる。解説動画を見て個別に学ぶことができる。
11	学校図書	<ul style="list-style-type: none"> ○各学習のはじめに「Question」を設定して学習のきっかけとするとともに、生徒の発言により、問題解決の見通しをもたせている。 ○導入場面で、2人の会話から小学校のとき五角形の内角の和を求めたことを想起させ、いろいろな求め方を考える中で、拓真さんの求め方（三角形分割）を取り上げ、多角形の内角の和の性質について考える活動を設定している。（2年） ○水を熱する実験で、水が沸騰するのは何分後になるかを予測する活動では、「問題を見つけよう→実験して考えよう→グラフに表してみよう→説明してみよう→式に表して考えよう→新たな問題を見つけよう」という問題解決の過程を示している。 ○発展的内容は乗法公式を使った分母の有理化」「2次方程式のおもしろい解き方」「逆関数」「平均の速さ」「方べきの定理」などがある。（3年） ◎二次元コードから、教科書アドバイザー「マスマス」などを利用することができる。AIチャットで質問することができ、個別のつまずきにも柔軟に対応できる。 ●AIチャットが使用でき、個別で学習する際の助けとなる。
17	教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ○各学習のはじめに「Q 考えてみよう」などを設定して学習のきっかけとするとともに、生徒の発言により、考え方の手がかりを示している。 ○導入場面では、小学校で三角形の内角と外角について学習したことを想起させ、1つの頂点から対角線をひく方法で多角形の内角の和を求める活動を設定している。（2年） ◎学習内容を深めたり広げたり、日常生活や他教科の学習に活用できる題材を取り上げている。社会や職業の中で、数学が活用されている例を紹介した読み物を載せている。 ○発展的内容は「乗法の公式を使った分母の有理化」「負の数の指数を使った累乗の表

		<p>し方」「2次関数」「放物線と直線の交点」などがある。(3年)</p> <p>○二次元コードから、「操作」「動画」「統計ツール」「資料」のデジタルコンテンツを利用できる。思考の補助として活用することができる。</p>
61	啓林館	<p>○1年「比例・反比例」では、箱をつくる時、切り取る正方形の1辺の長さが変わることにもなって、箱の底面の1辺の長さが変わることなどについて考えることを通して関数の概念について理解できるようにしている。</p> <p>○生徒が主体的に学習したことを活用して説明したり話し合ったりできる課題を取り上げている。データのばらつきや箱ひげ図、ヒストグラムなど複数の異なる図を比較して、その特徴を比較することで説明を行うことができるようにしている。(2年)</p> <p>○学習内容を深めたり広げたり、日常生活や他教科の学習に活用できる題材を取り上げている。学習内容を深めたり広げたり、日常生活や他教科の学習に活用できる題材を取り上げている。</p> <p>○「学びをふりかえろう」で、下学年で学んだ内容を復習する問題を掲載している。「学びをいかそう」で、日常生活や他教科の学習と関連した課題等の例を示している。</p> <p>○二次元コードから、「補充問題」「例・例題の解説動画」などのデジタルコンテンツを利用できる。例の解説動画を見て個別に学ぶことができ、「補充問題」が充実しているため、学び直しにも活用することができる。</p>
104	数研出版	<p>○1年「比例・反比例」では、500円硬貨ばかり入れている貯金箱Aと、それ以外の硬貨を入れている貯金箱Bそれぞれについて、硬貨を何枚か取り出し、硬貨の枚数と重さの関係について考えることを通して、関数の概念を理解できるようにしている。</p> <p>○生徒が主体的に学習したことを活用して説明したり話し合ったりできる課題を取り上げている。箱ひげ図と折れ線グラフなど異なる図を比較して、その特徴を比較することで説明を行うことができるようにしている。(2年)</p> <p>○水を熱する実験で、熱し始めてから6分後の水温を予想する場面では、二人の生徒と先生の会話によって、問題解決の過程を示している。</p> <p>○発展的内容は「$\sqrt{2}$が無理数であることの証明」「放物線と直線の交点の座標」「三角形の重心と内心」「円に関するいろいろな性質」などがある。(3年)</p> <p>○二次元コードから、「補充」「イメージ」「資料」などのデジタルコンテンツを利用できる。用語辞書や公式集を見ることができ、学び直しに活用することができる。</p>
116	日本文教出版	<p>○1年「比例・反比例」では、歩数と道のりなど、1つの数量が決まるとそれにもなって、もう1つの数量が決まるものを考えることを通して、関数の概念について理解できるようにしている。</p> <p>○導入場面で、三角形の内角の和を想起させ、もっと頂点の数が多い多角形の内角の和を考える。まず、陸さんが考えた四角形の和の求め方(三角形分割)で五角形の内角の和を求め、さらに六、七角形の内角の和を求める活動を設定している。(2年)</p>

	<p>○同じ大きさの冷蔵庫について調べた結果から、どちらの冷蔵庫に買い替えるのが得かを考える活動では、「身近なことから→数学の問題にしよう→見通しをもとう→考えよう→話し合おう→ふり返ろう→深めよう」という問題解決の過程を示している。</p> <p>○発展的内容は「分母が多項式である有理化」、「参加人数と試合数」、「放物線と直線の交点」、「関数 $y = 2^x$」などがある。(3年)</p> <p>◎二次元コードから、「見る」「ためす」「身につける」「図形のまとめ」「調べる」「統計ツール」のデジタルコンテンツを利用できる。思考の補助として活用することができる。</p>
--	---

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	理科

教科書選定の観点

- ・知識及び技能の習得
知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫
観察・実験の技能を習得させるための工夫
- ・思考力、判断力、表現力等の育成
単元の導入において、課題を設定するための工夫
観察、実験を計画する学習活動、結果を分析し解釈する学習活動の工夫
科学的な概念を使用して考えたり、説明したりする活動の工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高めるための工夫
科学的に探究しようとする態度の育成を図る工夫
- ・内容の構成・配列・分量
単元の配列の工夫
補充的な観察、実験及び発展的な学習等に関する内容の工夫
- ・内容の表現・表記
写真、資料及びデジタルコンテンツ等の取扱い

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
2	東京書籍	<p>◎単元や章の初めの「学習前に書こう」、単元や章の終わりの「学んだことをチェックしよう」「学習後も書こう」で認識の形成を支援している。単元の終わりに「学習内容の整理」「確かめ問題」「活用問題」を設定している。</p> <p>○「構想」の中で、既習事項と関連させながら計画を立てる視点を示している。「分析解釈」の中で、結果からわかることが記載されており、さらに改善できる視点について示されている。</p> <p>○日常生活や社会に広げて考えることができる「学びを生活や社会につなげよう」という内容を提示している。分野ごとに、理科に関連した事物・現象の読み物が豊富に提示されている。</p> <p>○巻末資料では、理科の見方・考え方を広げるもの、学習に必要な知識・技能が確認できる。単元末の発展的探究課題では、学習内容の振り返りができる活動が仕組まれている。コラムでは、高校につながる発展的なものが多く、学習内容を実生活につなげる内容のものもある。</p> <p>○探究的な学習のサポートとして、学習したことを定着させたり、学びを広げたり、深めたりする様々なデジタルコンテンツが豊富に用意されている。</p> <p>●電子の表記の仕方について、高等学校と同様となっている。</p> <p>●生徒の興味・関心を高めるために活用できる「読み物」が掲載されている。</p>		

4	大日本図書	<p>○単元の終わりに「探究活動」「まとめ」「単元末問題」「読解力問題」「つながる」を設定している。基礎的な知識の復習から活用まで幅広くおさえている。</p> <p>◎第1学年の巻末のみに、「探究の進め方」を設定し、「問題を見つけよう」「課題をつかもう」など、予想や仮説を立てるための流れが示されている。また、「話し合おう」が設定され、話し合いの内容や方法が整理されている。</p> <p>○生徒が学習内容に興味・関心をもつような活動を複数提示している。暮らしの中で体験する事物・現象を「くらしの中の理科」として日常生活に関連付けて提示している。</p> <p>○巻末資料では、基本操作が多く掲載されており、他教科とのつながりも掲載されている。単元末の発展探究活動では、学習内容を振り返ることができる活動が仕組まれている。コラムでは高校につながる発展的なもの、学習内容を実生活につなげる内容のものが多い。</p> <p>○数は少ないが、学習したことを確実に定着させ、より深く理解するために役立つデジタルコンテンツが用意されている。</p> <p>●電子の表記の仕方について、高等学校と同様となっている。</p>
11	学校図書	<p>○単元の終わりに「学習のまとめ・用語を覚える」と「学習のまとめ・基本問題に慣れる」で基礎・基本の定着に重点を置き、巻末に「計算問題」「読解力強化問題」「思考をさらに深める」の活用的な問題を設けている。</p> <p>◎巻頭に「理路整然―智に働けば役に立つ―」を設定し、レポートや発表での意見の伝え方が示されている。また、「Can-Do List どのように学びに向かうか」に話し合いに関する内容が書かれている。</p> <p>○理科を学習する意味を各学年の学習内容につなげて、吹き出しや漫画のような形で提示している。各章でCan-Do List が設定してあり、単元における目標や学ぶべきことを明確にしている。</p> <p>○巻末資料では、基本操作や思考をさらに深めるための内容が多く掲載されている。コラムでは、学習の補助としての内容のものがほとんどである。</p> <p>○教科書の二次元コードから、ウェブ上で教科書を見ることができ、そこから動画コンテンツや、操作コンテンツを活用することができる。</p> <p>●「理路整然」が科学的に思考する際の助けとなる。</p>
17	教育出版	<p>◎観察・実験にあたっては、「目的」「準備」「方法」「結果」と項目で示され、観察・実験で使用する器具や装置の操作などは巻末資料の「基礎技能」として本文とは区別して示している。</p> <p>○「計画を立てる」の中で、既習事項を基に計画を立てる視点が示されている。分析解釈については、「考察する」の場面で例が記載されており、そこから考察することができるように視点が示されている。</p> <p>○各章ごとに学習内容をより深めるための「ハローサイエンス」という読み物を提示している。他教科とのつながりを明確にし、理科に活用できるような資料を提示し</p>

		<p>ている。</p> <p>○巻末資料では、基本操作が多く記載されており、他教科とのつながりも掲載されている。単元末の発展探究活動では、学習内容を発展させる内容のものが掲載されている。コラムでは、学習内容を発展させる内容のものがほとんどである。</p> <p>○教科書に掲載されている二次元コードからつながる「まなびリンク」のデジタル教材で学びをサポートしている。</p> <p>●算数・数学と理科の関連について、わかりやすく示されている。</p>
61	啓林館	<p>○章の終わりに「Review 振り返ろう」、単元の終わりに「学習のまとめ」、「力だめし」、「みんなで探Qクラブ」が設定されている。基礎的な知識の復習から思考力を問う問題まで幅広くおさえている。</p> <p>○「計画」の中で、既習事項と関連付けながら計画する視点を示している。また、巻末に探Qシートが単元ごとにある。分析解釈については、「考察」として示されており、考察の視点も示されている。</p> <p>◎巻頭及び巻末に探究の過程の流れを示している。各単元の一箇所に「探Q実験」を設定し、巻末に添付した「探Qシート」に生徒が書き込むことで、探究の過程に沿った学習活動が行えるようにしている。</p> <p>○巻末資料では、探究に関することが多く書かれている。単元末の発展探究活動では、学習内容の振り返りができる活動が仕組まれている。対照実験を行わせ、根拠をもって考察を行うことができる。コラムでは、学習内容を実生活につなげていく内容のものが多く掲載されている。</p> <p>○動画コンテンツだけでなく、振り返りシートや、動かせたり編集できたりする多様なコンテンツで理解を助けたり、理解を深めたりすることができる。</p> <p>●飽和水蒸気量について、生徒がイメージしやすいような工夫がされている。</p> <p>●探究的に学習する際に役立つワークシートが用意されており、使いやすい。</p> <p>●「部活ラボ」「お仕事ラボ」等、世の中の事象とつなげるような工夫がある。</p> <p>●電子の表記の仕方について、高等学校と同様となっている。</p>

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	音楽（一般）

教科書選定の観点

- ・知識及び技能の習得
表現、鑑賞領域の知識及び技能の習得を図るための工夫
題材の学習目標等の示し方
- ・思考力、判断力、表現力等の育成
音楽表現を創意工夫させるための工夫
音楽的な見方・考え方を働かせる工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
興味・関心を高めるための工夫
音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫
- ・内容の構成・配列・分量
我が国の音楽に関する内容の扱い
教材の配列及び分量
- ・内容の表現・表記
〔共通事項〕の指導を充実させるための工夫
楽譜、イラスト・写真、デジタルコンテンツの活用

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
17	教育出版	<p>○教材のページの端に縦書きで題材名、教材名の下に活動ポイントを示している。</p> <p>○「ACTIVE！」の中で、「見方・考え方」の手立てとなる音楽を形づくっている要素にフォーカスして鑑賞できるように示している。</p> <p>○「劇場・音楽堂へ行こう！」として音楽とのかかわり方を紹介する資料を掲載している。</p> <p>○全学年とも歌唱教材、鑑賞教材、創作の順に配列している。その後、「歌のアルバム」の合唱曲集、国歌「君が代」、楽典、資料の順に配列している。</p> <p>◎いくつかの教材に二次元コードを記載し、イメージ画像とともに範唱を聴くことができ、曲のイメージをもつことができる。鑑賞教材では、楽曲を鑑賞することができ、ワークシートの活用ができる。</p> <p>●パソコン等で曲をつくる内容が設定されおり、生徒が興味をもちやすい。</p> <p>●内容が整理されており、生徒が学びやすい。</p> <p>●全ての教材において学習目標を2つのポイントに整理して示してあり、学習者も指導者もわかりやすい。</p> <p>●「歌唱」「鑑賞」「創作」の学習の関連性がわかりやすく示されており、学習の見通しをもちやすい。</p>		

27	教育芸術社	<p>○教材ページの端に縦書きで学習目標と音楽を形づくっている要素を、教材名の下に活動文を示している。</p> <p>○「学びのコンパス」の中で、セリフにより対話を促す例示がされている。</p> <p>○「生活や社会の中の音や音楽」で音や音楽と生活や文化の関りについての資料を掲載している。</p> <p>○第1学年では、歌唱教材、鑑賞教材、合唱曲集、楽典、国歌「君が代」の順に配列しており、創作については、関連する歌唱教材及び鑑賞教材のあとに配列している。第2・3学年は、歌唱教材、創作、鑑賞教材、合唱曲集、楽典、国歌「君が代」の順に配列している。</p> <p>◎各教材に二次元コードを掲載し、パート別の旋律、ピアノ伴奏が再生でき、生徒が主体的に学習に取り組むことができる。また、内容や図等の補足説明を見ることやワークシートの活用ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●音楽のジャンルについて、ジャンル間の関係性がわかりやすいように示している。 ●情報量が多いため、詳しく学習したい生徒の興味・関心を高めることにつながる。 ●生徒が興味をもちやすいイラストが掲載されている。
----	-------	--

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	音楽（器楽合奏）

教科書選定の観点

- ・知識及び技能の習得
器楽分野の知識及び技能の習得を図るための工夫
題材の学習目標等の示し方
- ・思考力、判断力、表現力等の育成
音楽表現を創意工夫させるための工夫
音楽的な見方・考え方を働かせる工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
興味・関心を高めるための工夫
音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫
- ・内容の構成・配列・分量
我が国の音楽に関する内容の扱い
教材の分量及び構成
- ・内容の表現・表記
楽譜、イラスト・写真、デジタルコンテンツの活用

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
17	教育出版	<p>○スモールステップで段階的に技能の習得ができるように掲載している。</p> <p>○箏の創作では、「荒城の月」の前奏をつくる活動がある。活動①～③の手順を示しており、イラストのキャラクターから、前頁で学習した事項を取り入れ工夫をすることなどのアドバイスをしている。</p> <p>◎鑑賞や歌唱表現活動で取り上げる曲を、リコーダーでの表現活動にも取り組めるよう楽譜を掲載している。</p> <p>○和楽器の基本的奏法に関する内容をわかりやすく表し、和楽器を用いた多様なアンサンブル曲を始め、多数の曲を掲載している。</p> <p>○アルトリコーダーのそれぞれの練習曲に、新しく学習する運指を見開きページの左右の端に図で提示している。また、ソプラノリコーダーの運指も記載している。</p>	<p>●リコーダーの演奏の仕方について、スモールステップで学べる構成になっており、技能を身に付けやすい。</p> <p>●リコーダーの学習では、鑑賞や歌唱で取り上げている曲や耳なじみのある曲を用いているため、生徒が練習しやすい。</p> <p>●箏の学習では、「さくら さくら」から演奏する流れになっているため、生徒の興味・関心を高めやすい。</p>	

27	教育芸術社	<p>○聞き馴染みのある曲や親しみのある曲を通して技能の習得ができるように掲載している。</p> <p>◎箏の創作では、課題や条件にそって旋律をつくる活動がある。課題と条件を示し、Warming-up から①～③の手順と創作の例を示している。また、イラストのキャラクターが既習事項である「いろいろな奏法」を取り入れる工夫をするよう促している。</p> <p>○ギターと関連付けて、ポップスのバンドスコアを掲載している。</p> <p>○和楽器のページにおいては、楽器の奏法に関係することだけでなく、各楽器を用いた鑑賞曲も取り上げている。</p> <p>○アルトリコーダーの練習曲の運指を見開き左右どちらかにまとめて図で提示している。</p> <p>●楽器の演奏の仕方や姿勢、礼儀等について詳しく説明されている。</p> <p>●箏の仕組みについて、詳細に説明がされている。</p>
----	-------	--

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	美術

教科書選定の観点

- ・知識及び技能の習得
 〔共通事項〕の指導を充実させるための工夫
 形や色彩、材料や用具の取扱等の定着を図るための工夫
- ・思考力、判断力、表現力等の育成
 表現と鑑賞の関連を図った学習活動の工夫
 表現及び鑑賞活動における言語活動の工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
 興味・関心を高めるための工夫
 生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わるための工夫
- ・内容の構成・配列・分量
 題材の配列
- ・内容の表現・表記
 作品等についての示し方の工夫
 デジタルコンテンツの活用

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
9	開隆堂	◎各題材の学習で必要な知識や技能が「美術の用語」に、題材横断的な知識や技能が各巻の巻末に「学びの資料」として示されている。	◎掲載作品とあわせて「作者のことば」を数多く掲載することで、作品の表現の工夫を知り、それらを活用した表現活動へ展開できるようにしている。	◎作品図版をできるだけ大きく掲載しており、表紙には思わず触りたくなるような加工が施され、興味・関心をもったり、触って作品の質感を想像したりできるように工夫されている。
		○題材を分野ごとに分けて配列しており、内容をページの左上に色と文字で示している。	○どのようなコンテンツが入っているのかを、「CONTENTS」として各題材名の上部にまとめて示している。	●学習目標や活動のポイントが明確に掲載されていて、生徒も指導者もわかりやすい。
				●表紙の手触りや資料によって、生徒の興味・関心を高めることができる。
38	光村図書	◎3年間で必要な「描く」「つくる」「写真」「映像」「発想・構想」「形・色・光」「色」について別冊資料が用意されており、生徒が参照しながら主体的に制作を進められる工夫がある。		○美術作品の鑑賞の場面における言語活動の示し方を国語科とつなげ、美術鑑賞を広

		<p>げる言葉をわかりやすく示している。生徒が感じとったことや、発想や構想の工夫が生徒自身の言葉で示されている。</p> <p>○全体を通して多様な日本美術が掲載されており、日本の絵画を風合いのある用紙に掲載するなど、日本美術への理解が深まるような工夫がされている。</p> <p>○題材を分野ごとに分けて配列している。題材の内容をページの左上に色と文字で示している。別冊の資料がある。</p> <p>○各題材において、題材名の横に二次元コードで、技法動画、全国の生徒作品、書き込みツール、鑑賞解説動画、作家作品関連動画、美術史用語、地域作品などを示している。特に「体感ミュージアム」では、鑑賞作品への書き込みや、360度回転させて鑑賞できるようになっている。教科書の裏表紙に学校生活や社会生活に役立つ資料が二次元コードで示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●別冊の資料集を基に、イメージをもちながら制作をしやすい。 ●技能について別冊にまとめられているため、学年が変わっても使用しやすい。 ●資料集を別に購入する必要がないため、保護者の負担軽減になる。
116	日本文教出版	<p>○各題材に〔共通事項〕(知識)への意識を促す「造形的な視点」を設定している。</p> <p>○思考のプロセスが見えるアイデアスケッチや「表現のヒント」、生徒作品の理解を深める「作者のことば」を掲載している。友達と対話しながら鑑賞する情景写真を掲載し、言語活動を促している。</p> <p>◎二次元コードから見られる二分程度の題材導入動画の中で、主題を生成する投げ掛けや、何を学ぶのかが提示されており、生徒が自分ごとに置き換えて主体的に捉え、対話を増やして学べる工夫がある。</p> <p>○題材を分野ごとに分けて配列しており、内容をページの左上に色と文字で示している。</p> <p>○作品を原寸大で掲載するなど大きく示し、細かい部分の表現まで見てとることができたり、屏風作品を実際に折って実感的に鑑賞できたりする工夫があり、鑑賞の視点を広げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●美術年表により、世界と日本の状況がわかりやすく、美術史を学習する際の手助けとなる。

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	保健体育

教科書選定の観点

- ・知識及び技能の習得
 - 単元の目標の示し方
 - 知識及び技能の習得を図る工夫
- ・思考力、判断力、表現力等の育成
 - 思考力、判断力、表現力等の育成を促す工夫
 - 個人生活における健康安全について、自分の考えを言葉や文章及び動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動の工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
 - 自己の課題を見付け、その解決に向けた学習活動の工夫
 - 興味・関心を高めるための工夫
- ・内容の構成・配列・分量
 - 単元・題材や資料等の配列
 - 発展的な学習に関する内容の工夫
- ・内容の表現・表記
 - イラスト・写真等の活用
 - デジタルコンテンツの活用

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見
		○特徴 ◎最も顕著な特徴 ●意見
2	東京書籍	<p>○章扉に、単元を貫く問いを示し、その後に単元の学習内容を示している。1見開き1時間構成とし、ページの初めに、学習課題に迫るような問いを設け、その後に学習課題を明示している。</p> <p>○「広げる」として学習した知識を基に、日常生活との関連性に気付かせたり、さらに調べたりする活動を設定している。思考力・判断力・表現力を効果的に働かせることができるように、シミュレーションや思考ツールに関するデジタルコンテンツが提示されている。</p> <p>○学習内容に関連した「読み物」が紹介されており、各章の終わりには学習内容と関連が深い「章末資料」を示している。例えば、P24～26に「アレルギー」「睡眠はなぜ必要か」「体温測定と健康管理」について掲載してある。</p> <p>◎すべての単元において発展的な内容の資料が掲載されている。例えば、「章末資料(P50)」に「胎児を育てる母体の神秘 - 胎盤とへその緒 - 」という資料を掲載している。</p> <p>○二次元コードから、デジタルコンテンツ(動画)を掲載したページにアクセスすることができる。【1年 保健編2章「心身の機能の発達と心の健康(2)」、2年 保健編3章「傷害の防止(11)】</p> <p>●各章末の資料が充実しており、生徒が学びを深めることができる。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ●心肺蘇生法について、巻末に整理して示されており、わかりやすい。 ●生徒にとって身近なアレルギーについての記載がされている。
4	大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> ○1見開き1時間構成とし、最後に学習内容を振り返るためのキーワードを示すとともに、自分の生活に当てはめられるような課題を示している。各章末に、学習のポイントとなる重要な言葉をまとめて示し、ウェブサイトにもまとめの問題を収録している。 ◎各小單元において「活用して深めよう」として、学習した知識を基にさらに深く考え、思考力を高めるための活動が設定されている。さらに、「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」で、協働的な活動を促し、思考力、判断力、表現力等の育成につながる問いが設定されている。 ○学習内容に関連した「トピックス」や「ミニ知識」が紹介されている。また、各章の終わりに、学習内容に関連が深い「章末資料」を示している。例えば、P26に「身体活動」「10分当りに消費されるエネルギー」「主な食品のエネルギー」「睡眠と情報機器との関係」について掲載してある。 ○全ての單元において発展的な内容の資料が掲載されている。例えば、「トピックス(P44)」にアンガーマネジメントについて掲載している。 ○二次元コードから、デジタルコンテンツ(動画)を掲載したページにアクセスすることができる。【2年保健編4章「傷害の防止(12)」】 ●心肺蘇生法について詳細に説明がされている。
50	大修館	<ul style="list-style-type: none"> ○章扉に、単元を貫く問いを示すとともに、その単元を学ぶ理由や学習内容が日常生活とどのようにつながるのかを示している。1見開き1時間構成とし、初めに導入の問いを設け、その後に学習課題を示している。 ◎「章のまとめ」として、学んだことを活用し改善策や解決策を考え、導き出す問いを設定している。「学習のまとめ」では、多様な表現活動を提示し、自らの思考の過程等を客観的に捉えたり、集団としての考えを形成したりするなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながる問いが設定されている。 ○章扉に「この章で学習すること」として、各単元を構成する主な学習内容が示されている。また、「学習を始める前に」というチェックリストがある。各時間に「課題をつかむ」や「学習のまとめ」が設定されており、自分に関することや実生活と結び付けた課題が設定されている。 ○すべての單元において発展的な内容の資料が掲載されている。例えば、「特集資料(P75)」に女性のスポーツ選手が陥りやすい3つの健康問題について掲載している。 ○二次元コードから、デジタルコンテンツ(動画)を掲載したページにアクセスすることができる。【1年保健2「心身の発達と心の健康(4)」、2年保健4「けがの防止と応急手当(7)」】 ●性の多様性について詳しく記載がされている。

224	学 研	<p>◎扉に、単元の学習内容の概要・単元を構成する学習内容を示している。1見開き1時間構成とし、初めに学習課題に関連した身近な話題を取り上げ、その後に、学習課題を示している。</p> <p>○キャラクターが問いや思考を深めるためのヒントを投げかけるなど、語りかける形式によって登場することで、学習を広げたり、深めたりする工夫がある。</p> <p>○学習に関連した「コラム」が紹介されている。また、各章の終わりに、学習内容に関連が深い「探究しようよ！」を示している。例えば、P38～39に「アレルギー」「脳死と臓器移植」「睡眠を見直そう」「中学校生活と食事」について掲載してある。</p> <p>○すべての単元において発展的な内容の資料が掲載されている。例えば、「探究しようよ！（P131）」に急な大雨や雷・竜巻から身を守るための方法について掲載している。</p> <p>○二次元コードから、デジタルコンテンツ（動画）を掲載したページにアクセスすることができる。【1年保健編2章「心身の発達と心の健康(3)」、2年保健編4章「傷害の防止(8)」】</p> <p>●生徒にとって身近なアレルギーについての記載がされている。</p>

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	技術・家庭（技術分野）

教科書選定の観点

- ・知識及び技能の習得
 - 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫
 - 技術の概念の理解を促すための工夫
- ・思考力、判断力、表現力等の育成
 - 技術の見方・考え方を働かせるための工夫
 - 技術による問題の解決を行うための工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
 - 目標の示し方
 - 学習過程の工夫
- ・内容の構成・配列・分量
 - 題材や資料等の配列
 - 実践的・体験的な学習を実施するための工夫
- ・内容の表現・表記
 - 各教科等と関連させて学習を進める工夫
 - デジタルコンテンツの活用

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
2	東京書籍	<p>○内容A～Cの第3章及び内容Dの第4章の冒頭で「技術の最適化」という項目があり、これまでの振り返り、自分の問題解決と社会における問題解決について考えることを促す生徒のつぶやき等を記載している。</p> <p>○技術分野のガイダンス「技術の見方・考え方」において、製品が、社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性の面から折り合いを付け、最適化されていることに気付くための漫画を掲載している。</p> <p>○「未来の technology」において、これまでの学習を踏まえ、「技術の評価、選択、運用（技術ガバナンス）」「技術の改良、応用（技術イノベーション）」について考えさせるためのワークシートがある。</p> <p>○各内容と問題発見のためのテーマをあげ、製作例などで解決への手順を示すとともに、「もっと問題解決」でさらに問題解決例をあげている。</p>	<p>◎「デジタルコンテンツを活用しよう」のページがあり、デジタルコンテンツの一覧表示用の二次元コードが示されているとともに、全てのページに「Dマーク」と二次元コードが示され、関連のデジタルコンテンツを表示できる。</p>	<p>●学習したことをどのように生かすかを考えさせるワークシートが各章に用意されている。</p> <p>●道具の役割や道具の使い方が写真や文でわかりやすく説明されている。</p>

		<p>●プログラミングの学習では、作成したプログラムについて評価・改善・修正するための視点が多く示されており、自己の学びを調整しやすい。</p>
6	教育図書	<p>◎内容A～Cの第3章及び内容C第4章の冒頭で「技術のプラス面とマイナス面」という項目で、これまでの振り返り、世の中の技術の役割や技術が与える影響、社会におけるプラス面とマイナス面を見極めたりすることを促す記述や生徒のつぶやきが掲載されている。</p> <p>○ガイダンス「技術の問題解決ってなに？」において、「①立場によって見つかる問題が異なる」「②見方・考え方によって、プラス・マイナスが異なる」「③立場や見方・考え方によって、解決方法が異なる」という視点から技術の最適化に気付けるような記載がある。</p> <p>○「やってみよう」において、これまで学習を踏まえ、技術の上手な活用法や新しく開発したい技術、これから技術とどのように向き合っていくのかを考えるためのワークシートがある。</p> <p>○巻頭に「ガイダンス」があり、各内容を、A編「材料と加工の技術」B編「生物育成の技術」C編「エネルギー変換の技術」D編「情報の技術」とし、A編からC編は1章から3章、D編は1章から4章で構成され、E編として「夢をかなえる技術」が掲載してある。また、各内容での用具の使用法や作業方法について「スキルアシスト」という別冊がある。</p> <p>○SDGs に関する内容には、関連する持続可能な開発目標のマークが示されている。</p> <p>●技術の進歩には、プラス面もあるがマイナス面もあるということについての記載があり、生徒に多様な視点をもたせることができる。</p>
9	開隆堂	<p>○内容A～Dの3で各内容における学習を振り返らせたり、技術と社会とのつながりを考えさせたりするための記述や図等を掲載されている。</p> <p>○各内容の第1章の末において、「技術の見方・考え方で既存の製品を読み解こう」という学習課題があり、具体的な例を上げている。</p> <p>○「やってみよう」において、新しい技術について調べるための記述がある。</p> <p>○各内容とも実習例をあげ、その実習例でも「問題の発見、課題設定→設計・製作（制作）→評価・改善」といった問題解決の進め方が記述されているとともに、実習例によって個別に必要な手順が具体的に写真等で示されている。</p> <p>◎各内容の初めに「小学校や他教科とのつながり」として、関連する学習内容が示してある。また、他教科や小学校での学習とのかかわりがあるところに「他教科」「小学校」マークを示し、他の学習項目や家庭分野とのかかわりがあるところをマークで示している。</p> <p>●道具の役割や道具の使い方が写真や文でわかりやすく説明されている。</p>

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	技術・家庭（家庭分野）

教科書選定の観点

- ・知識及び技能の習得
 - 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫
 - 実践的、体験的な学習を実施するための工夫
- ・思考力、判断力、表現力等の育成
 - 生活の中から課題を見いだすための工夫
 - 課題を実践し、評価を改善し表現するための工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
 - 学習した内容を家庭や地域で実践するための記述
 - 「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせるための工夫
- ・内容の構成・配列・分量
 - 発展的な学習の扱い方
 - 他教科等と関連させて学習を進める工夫
- ・内容の表現・表記
 - 特別支援教育へ配慮した構成、デザインの工夫
 - デジタルコンテンツの活用

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
2	東京書籍	○「実習を楽しく安全に進めよう」を巻頭に掲載し、食物アレルギーや感染症予防にも気を付けて、安全に実習に取り組むためのポイントをまとめている。	◎「生活の課題と実践の進め方」を掲載し、学習の流れを示している。 (1 課題を決めよう 2 計画を立てよう 3 家庭や地域で実践しよう 4 評価しよう 5 改善しよう 6 次の課題に挑戦しよう)	●「生活に生かそう」「まとめよう」で学習を振り返ったり、次の学習に生かしたりする活動を設定している。
		○「生活に生かそう」が題材ごとにあり、生徒が実践しやすい具体的な内容が示されている。	◎授業で使用できるワークシートや思考ツール、基礎技能や幼児に関わる動画など、学習内容を定着・深化したり、家庭での実践に役立てたりできるデジタルコンテンツが豊富に掲載されている。	●動画コンテンツが充実しており、生徒が実習する際の支援となる。
				●生徒に思考を促すような問いかけが充実している。
				●図や表等の資料が充実している。
6	図書教育	○「実習は安全に取り組もう!」を巻頭に掲載し、けがや衛生面に気を付けて、安全に実習に取り組むためのポイントがまとめられている。また、実習の注意点について		

		<p>でのワークを設定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 『生活の課題と実践』の学習の流れ」を掲載し、学習の流れを示している。(1問題を発見する 2課題を設定する 3計画・実践する 4評価する 5改善する 6次の課題へ) ◎ 「生活の営みに係る見方・考え方」をガイダンス「つなぐ、つながる×家庭分野」において、キーワードを用いて説明している。 ○ 「学びをいかそう」が題材ごとにあり、生徒が実践しやすい具体的な内容が示されている。 ○ 調理実習動画や制作動画などのデジタルコンテンツがあり、二次元コードを読み込むと学習に関わりのある参考動画や資料などを見ることができる。また、オリジナルワークやワークシートがあり、主体的な学習につながる。 ● SDGsを意識しやすいような記載がされている。 ● 写真が多く、視覚的な支援となっている。
9	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「楽しく安全に実習しよう」を巻頭に掲載し、実習前、実習中、実習後のそれぞれのポイントがまとめられている。 ○ 「生活の課題と実践の進め方」を掲載し、学習の流れを示している。 (1生活を見つめ、課題発見・課題設定 2計画 3実行・実践 4まとめ・発表 5ふり返り・評価 6生活にいかす・次の課題へ) ◎ 「やってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」で生活の中の具体的なできごとから課題を考える活動を設定している。 ○ 「やってみよう」のマークで基本的な内容の理解を深めたり、応用したりするための課題を提示しており、生徒が実践しやすい具体的な内容が示されている。 ○ 学びを広げ、深めるための資料コンテンツと、基礎技能、調理・製作実習の手順などを示す動画コンテンツが豊富に掲載されている。 ● 消費者トラブルに関する内容について、データと事例をバランスよく記載している。

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	英語

教科書選定の観点

- ・知識及び技能の習得
 - 単元の目標の示し方
 - 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための工夫
- ・思考力、判断力、表現力等の育成
 - 単元における言語活動の工夫
 - 知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
 - 単元に対する興味・関心を高めるための工夫
 - 単元等における振り返りの工夫
- ・内容の構成・配列・分量
 - 単元の構成・配列の工夫
 - 小学校外国語科との接続を図った構成・配列
- ・内容の表現・表記
 - 巻末資料、付録等の工夫
 - 学習到達目標の設定

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
2	東京書籍	<p>○Unit 1. 2ではPracticeとしてペアで伝え合う活動、Read and Think 1. 2では、ReadingとWritingの活動ができるようになっている。学期に一度、それまでに学んだ領域と技能を活用したStage Activityが取り入れられている。</p> <p>○各学期末にStage Activityという単元があり、聞いた情報から即興で「話す・聞く」から「書く」につながり、最後は「話す（発表）」活動がある。</p> <p>○単元ごとにとびらでGoalが示されており、その単元での目標が明確である。また、単元末に話す活動や書く活動のUnit Activityがあり、最後にCHECKでそのGoalに対して生徒自身が振り返りを行うことができるようになっている。</p> <p>◎巻末のWord Listに小学校外国語科で学習した単語に印がある。「小学校の単語」Stage 1としてUnit 0～Unit 4までが小学校で学んだ英語を整理するためのStage 1として扱われている。</p> <p>○二次元コードを設置し、学習に役立つウェブアプリや資料、動画やクイズ、音声など、多岐にわたるコンテンツを用意している。巻末に「資料編」と「巻末付録」を掲載している。</p> <p>●ゴールに向かってスモールステップで学習を積み重ねられるようになっている。</p> <p>●巻末資料が充実しており、復習する際にも役立つ。</p> <p>●活動目標や学ぶ内容が一覧にされており、自己調整しながら学習する際のよりどこ</p>		

		<p>るとなる。</p> <p>●3年間の学習のまとめについて、多様な視点から学べるようになっている。</p>
9	開隆堂	<p>○目次に単元ごとの Goal が書かれていない。各単元のとびらで各ページに対しての Goal が提示されている。</p> <p>○単元の scenes に既習の文法事項を用いて自分のことを伝えたり、相手に質問したりする Speak&Write の活動がある。また、Our Project の単元では、Goal が具体的で、モデル文の提示、完成までのステップの提示などの工夫がある。</p> <p>◎新出表現の導入がマンガ形式で掲示されており、新出表現がどのような目的・場面・状況で使われるのか視覚的に理解できる。各単元の Part に入る前に、Tuning in という本文のテーマについて話し合う活動や会話を聞き内容を確認する活動が設定されている。</p> <p>○Scenes で聞く、やり取り、書く活動が設定されている。単元末に Action でやり取りの活動がある。また、ステージ末に Our Project として統合問題を設定している。</p> <p>○二次元コードを設置し、学習に役立つ本文や語句の音声、題材導入動画や文法解説アニメーション、発表モデル、単語アプリなど、多岐にわたるコンテンツを用意している。巻末に「Word Web」と「巻末資料」を掲載している。</p>
15	三省堂	<p>○各 Part に文法事項等を領域ごとに活用して身に付ける言語活動として Exercise が設定されている。また、各単元の終末には Goal Activity として Read、Write の活動がある。単元の終末では、Retelling 活動や目的・場面・状況を意識し、既習事項を活用できる言語活動が設定されている。</p> <p>○各 Lesson の最後の Goal Activity では、「読む」から「書く」へつなげる活動がある。また、各学期末に Project という単元があり、「読む・聞く」から「書く・話す（発表）」につなげる領域統合の活動がある。</p> <p>○各単元のとびらに Goal Activity が提示され、単元末にどんな英文を読むのかが明確である。また、Take Action では、それまでの学習内容を使い、表現できるようになっている。3単元ごとに Project があり、既習事項を振り返り、表現できるよう設定している。</p> <p>◎とびらに、Lesson Preview として聞く活動がある。単元末に、Goal Activity として、発表ややり取り、書く活動がある。また、Take Action で各言語活動が設定されている。</p> <p>○二次元コードを設置し、学習に役立つ資料動画や本文アニメーション、文法の解説動画や発音チェックなど、多岐にわたるコンテンツを用意している。巻末に「For Self-study」と「資料」を掲載している。</p>
17	教育出版	<p>○目次に単元の目標は提示されていない。各単元のとびらに内容理解と活動の2点で目標が提示されている。単元終了時の活動である Task では、目標をどれくらい達成できたか振り返ることができる部分がある。</p> <p>○Lesson の各 Part の Think&Try では、本文の内容について自分の考えや気持ちなど</p>

		<p>を入れてやり取りができる活動がある。また、単元末のTaskでは、設定された場面の中で、既習の文法事項を用いて相手に質問したり、自分のことを伝えたりする活動が行える。</p> <p>○各単元の最後にTaskとGrammarを設定し、それまでの学習内容を振り返ることができる。また、とびらにあるGoalについて4段階で自己評価し振り返ることができる。3単元ごとにProjectを設定し、既習事項を振り返り、表現できるよう設定している。</p> <p>○とびらに、単元のGoalに関連したListeningがある。Part1～3での活動の後、「Task」として読む、話す（発表、やり取り）や書く活動がある。さらに、単元の最後にActivity PlusやTipsがあり、発展的なSpeakingやReading活動がある。</p> <p>○巻末資料「Can-Do 自己チェックリスト」に領域別学習到達目標を設定している。領域別の振り返りを4段階で設定している。</p>
38	光村図書	<p>○各単元で見開き1ページの中で各活動ができるように設定されている（Listen&Read→Listen→Speak→Write）。また、各Partが終わった後に、既習事項を活用して、単元の目標を達成できたかを図るGoalのページがある。学期に1回の割合で既習事項の総復習を行えるようになっている。</p> <p>○学期末にYou Can Do Itという単元があり、「読む」から「書く」につなげる活動や、「聞く・見る」から「話す（メモや箇条書き程度の文を見て）」・「見せる」につながる活動になっている。</p> <p>○各単元のとびらの中で、その単元におけるコミュニケーションの目的・場面・状況を登場人物のイラストと台詞で示しており、聞く活動でその単元の大まかな内容を考えることができる。また、About Youとして本文に関する質問について話す活動がある。</p> <p>○とびらに本文内容に関わったやり取りをする活動が設定されている。Part1～3の後、Goalとして、話す活動や書く活動がある。</p> <p>○二次元コードを設置し、学習に役立つ音声、動画、理解度を確かめるピクチャーカード、即興的に話す活動を支える動画、発展的なリーディング教材など、多岐にわたるコンテンツを用意している。巻末に「帯活動」と「巻末付録」を掲載している。</p>
61	啓林館	<p>○目次に単元の目標は提示されていない。ProjectやLet'sシリーズの紙面上に目標を提示している。単元ごとにGoalをInputとOutputの2本柱で示している。</p> <p>○単元の各partにExpress Yourselfがあり、そのpartで学習した文法事項を用いて、自分のことを表現したり相手に質問したりするやり取りの活動が行えるようになっている。</p> <p>○各単元のとびらにUnit Goalとして、InputとOutputの2項目についてその単元の目標が提示されている。また、単元末のCheckでUnit Goalについて4段階で自己評価し、振り返りができるようになっている。</p> <p>○とびらに聞く活動がある。単元の後半にはRead and ThinkとしてReading活動、</p>

	<p>Think and Speak では、Speaking 活動がある。Project 1～3として統合した活動も設定している。</p> <p>○二次元コードを設置し、学習に役立つ本文や新出語句、リスニング音声、本文アニメーション映像、文法解説動画など多岐にわたるコンテンツを用意している。巻末に「巻末付録」と「付録」を掲載している。</p>
--	--

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	道徳

教科書選定の観点

- ・知識及び技能の習得
道徳科の学び方等の示し方
発問の工夫
- ・思考力、判断力、表現力等の育成
考えを伝え合う活動の工夫
考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
問題解決的な学習を取り入れた工夫
体験的な学習を取り入れた工夫
- ・内容の構成・配列・分量
分量や教材の数
現代的な課題等を踏まえた内容の示し方
- ・内容の表現・表記
巻頭、巻末等の取扱いの工夫
教材の内容を理解させる工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
2	東京書籍	<p>○「道徳科の時間はこんな時間に」のページに、「①気づく」、「②考える」、「③深める・広げる」など、道徳科での学び方を提示している。</p> <p>○巻頭「道徳の授業はこんな時間に」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイントを示すとともに、教材文の終わり「Plus」に、直前の教材に関する話し合いの具体的な流れを示している。</p>	<p>◎「Plus」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに探究の対話「p4c」や「対話の流れ」等を記載するなど学習過程を示している。</p> <p>○付録に「SDGs」と関連する教材があるとともに、いじめの問題をテーマとした、3つの教材と扉ページ等の構成でユニット化した「いじめのない世界へ」を設けている。</p>	<p>○「朗読音声」「ワークシート」「Webサイト」「資料」「VR映像」「心情円」「映像」「他教科リンク」などのマークを設定し、二次元コードとともに示している。</p> <p>●考えを深めやすくなるよう工夫された発問が設定されている。</p>
17	教育出版	<p>○「さあ、道徳を始めよう！『どうやって学ぶの？』」のページに、「問題に気づく」「考え、話し合う」「深める」「つなぐ」という学習流れをイラストや吹き出しとともに示している。</p>	<p>◎巻頭「さあ、道徳を始めよう！」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイント</p>	

		<p>を示したり、教材文の終わりの「学びの道しるべ」に、教材における話し合いを促す発問を示したりしている。</p> <p>○教材文の終わりの「学びの道しるべ」に、問題解決的な学習過程の例を示している。</p> <p>○「いじめをなくそう」、「つながり合って生きる」、「命を輝かせる」をユニットとして掲載している。またいじめの問題をテーマとした2つの教材とコラムの構成でユニット化した「いじめをなくそう」を設けている。</p> <p>○各学年の目次には、4つの視点で分けた教材番号と学習するまとまりを色付けするとともに、「教科書に出てくるマーク」等を示している。また切り取り式で学びの振り返りの記述欄を各学期分、1年間の振り返りを1回分設けている。</p>
38	光村図書	<p>○「本書で学ぶ皆さんへ」に、手引きを「①考えよう」「②見方を変えて」「③つなげよう」の3つで示している。</p> <p>○第1教材「道徳の学習を始めよう！」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイントを示したり、教材文の終わりに、教材における話し合いを促す発問を示したりしている。</p> <p>◎「チャレンジ」を設け、目次及び該当ページにマークを付け、教材の終わりにテーマに迫る学習過程の例を示している。</p> <p>○『「いじめ」を許さない心について考える』、『「情報モラル」について考える』をユニット化して、目次に示している。</p> <p>○「やってみよう」「チャレンジ」「まなびをプラス」「コラム」「まなびの準備」のマークを設定している。また、二次元コードにより「動画」「朗読」「資料」等のデジタルコンテンツを示している。</p> <p>●生徒の考えを深めることのできる問いや記載が多く示されている。</p>
116	日本文教出版	<p>○見開き2ページに、主題や教材、発問と学習の流れ等を「①気づく」「②考える・議論する・深める」「③見つめる・生かす」の3つでイラストや吹き出し等とともに示している。</p> <p>◎別冊「道徳ノート」に、自分の考えや友達の意見等を書く欄を設けるとともに、巻末のページに心に残っている授業や考えたこと等を記入するページを設けている。</p> <p>○「学びを深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、体験的な学習に関連する学習過程の例を示している。</p> <p>○いじめの問題をテーマとした2つの教材と扉ページ等の構成でユニット化した「いじめと向き合う」を設けるとともに、「いじめと向き合う」マークを使い、目次に色付けして複数示している。</p> <p>○目次、該当ページに「あすへのメッセージ」「視野を広げて」のマークを設定し、コラムのページとして示している。また教材名の下、別冊「道徳ノート」に、デジタルコンテンツにつながる二次元コードを示している。</p> <p>●道徳ノートには発問が記載されていないため、自由な活用ができる。</p> <p>●いじめの教材には、いじめに係る法令、法規が掲載されている。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ●考えを深めやすくなるよう工夫された発問が設定されている。 ●主題となる場面を想像することができる挿絵が用いられている。
224	学研	<p>○教材文の終わりに「集団や社会との関わりについて考える教材」を表す青色の枠を表示し、「考えよう」のコーナーに道徳的諸価値に迫る発問を掲載するなどの工夫がされている。</p> <p>○教材文の下に、学びの途中で気付いたことや思ったこと等について書く欄を設けている。</p> <p>◎「深めよう」の、学習過程の終末に、「生き方につなげよう」の表記があり、自己を見つめられるように工夫されている。</p> <p>○「持続可能な世界のために」「色とりどりに輝く」「未来に向かって」をユニット化し、いじめ問題をテーマとした教材も年間を通して配している。</p> <p>○目次の前に、先人の言葉を記載し、目次には教材を4つの視点の色分けとともに「教科書に使われるマーク」等を示している。また切り取り式で学期ごとに振り返る「学びの記録」、1時間毎の「学びの記録」の欄を設けている。</p> <p>●デジタルコンテンツの一覧が掲載されており、わかりやすい。</p>
232	あかつき教育図書	<p>○見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目をマークとともに示し、10個のテーマを教材名等とともに示している。</p> <p>○巻頭「道徳科の時間は、『自分を見つめ、考え、生きる』時間」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイントを示し、教材文の終わりの「いろいろな見方で考える」等に、教材における話し合いを促す発問を示している。</p> <p>◎「マイ・プラス」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、体験的な学習に関連する学習過程の例を示している。</p> <p>○各学年とも35教材。「『いじめ』を考える」「共に生きる社会」「国際理解」「キャリア」「伝統・文化」「情報モラル」「生命の大切さ」「安全・防災」「自然・環境」「スポーツ」の10テーマを設定し、多面的・多角的に学べるようになっている。</p> <p>○各学年の目次には、掲載している全ての教材名等を学習するまとめりごとに示している。また、切り取り式の振り返り用紙を設けている。</p>